

♪アコーディオンアンサンブル 100 第3回「サンクスコンサート」報告♪ ～東北アコーディオンジャンボリー実行委員会通信より～

平成21年10月31日(土)、仙台市泉区松陵「松陵西コミュニティセンター」を会場に第3回「サンクスコンサート」を開催しました。

「アコーディオンアンサンブル 100」は仙台市やその近郊のメンバー、9名で編成されるバンドです。編成内訳は、アコーディオン5台(内1台はクラリネットを兼ねる)、ハーモニカ1台、ベース1台、パーカッション1名、ボーカル1名となっており、月に2～3回練習を重ねています。

「サンクスコンサート」はいつも練習に使用しているコミュニティセンター周辺の住民の皆さんに楽しんでいただこうと始めました。また、私たちの日頃の練習の成果を発表する場でもあります。

第3回を迎えた今回のコンサートは、メンバーが手分けをして周辺の住宅に案内チラシを配布しました。その宣伝効果もあってか約80名の来場者があり1時間30分、三部構成の演奏会を楽しんでもらいました。

オープニングテーマ曲「おもい出の渚」に続いて第一部は、「里の秋」「川の流れるように」など四曲。第二部は九曲、「パリ祭」「小雨降る径」の歌ではじまり緊張の中、各メンバーの独奏を聴いてもらいました。特にクラリネット(遠藤)とアコーディオン(伊藤)の絡み合う美しいイントロから始まる「アレクサンドルスキー(山のロザリオ)」には大きな拍手が送ら

れました。

第三部は「河は呼んでる」など三曲。そして、最後にアンコール曲「タンホイザーマーチ」を演奏、盛大な拍手とともにすべての演奏を終了しました。終わりに、ご来場の皆さんと「故郷」「今日の日はさようなら」を歌い余韻を残しながら成功裡にコンサートを終えることができました。

アンケートには、アコーディオンについて「音色がよい」「美しく軽快」「懐かしく心癒される」「左手の伴奏が小気味よい」などの声が寄せられるとともに、「三部構成がよかった」「楽しんで練習している様子が目に浮かびます」「一生懸命さに心打たれました」「ソフトムードで家庭的なコンサートに心が和んだ」「懐かしい曲を聴き様々思い出し涙があふれた」「ハーモニカもすごい」など嬉しい感想を頂きました。また、演奏については「完成形が待たれます」「独奏がよかった、全体演奏もっと頑張れ」など厳しくも暖かいご批判を頂きました。東北アコーディオンジャンボリーや第4回サンクスコンサートに向けてさらに練習に励み、魅力あるアコーディオンアンサンブルバンドとして活躍できるようにみんなで頑張ってください。

